

エコアクション21

環境経営レポート

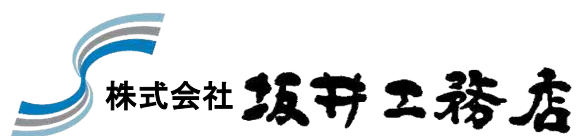
活動期間 2023年3月 ～ 2024年2月



発行日: 2024年 5月31日



認証番号0009739



〒761-8044 香川県高松市円座町610番地5

TEL 087-885-2105

FAX 087-885-0916

目 次

1, 組織概要・対象範囲	P1
2, 環境経営方針	P2
3, 実施体制と役割分担	P3
4, 環境経営目標	P4
5, 環境経営計画	P5
6, 環境経営目標実績結果と評価	P6-7
7, 環境経営計画の取組結果と評価	P8-9
8, 次年度環境経営計画	P10
9, 環境関連法規の遵守状況	..P11
10, 代表者による全体評価及び見直し	P12

1, 組織概要

□組織の概要

(1) 名称及び代表者

株式会社 坂井工務店
代表取締役 坂井 亮介

(2) 所在地

本社・資材倉庫：香川県高松市円座町610番地5
関連事業所：香川県綾歌郡綾川町山田下字高鷲1154番地3

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者：総務部長
tel：087-885-2105

(4) 事業内容

特定建設業・建築工事業
香川県知事許可 許可番号(特-3)第780号
令和3年12月21日

宅地建物取引業
免許証番号 香川県知事(12)第2183号
令和4年7月16日から令和9年7月15日まで

(5) 事業の規模

項目	2023年度
工事完工数(件)	192
売上高(百万円)	505
従業員数(人)	15
本社・延べ床面積(m ²)	222.59
資材倉庫・延べ床面積(m ²)	392.6
ASKIA・延べ床面積(m ²)	166.32

(6) 事業年度：2023.3月～2024.2月

(7) 認証・登録の対象範囲：全組織、全活動

2, 環境経営方針

株式会社 坂井工務店 環境経営方針

(1) 基本理念

限られた地球の資源と環境を永続的に保護するために、事業活動において、日常的に環境活動に取り組み、地球環境の保全に積極的に努め、建築を通じて明るい未来づくりと元気な街づくりに貢献します。

(2) 基本方針

我々は建設業の活動を通して、環境負荷の低減とお客様の置かれている環境の改善に貢献するため、下記の事項に取り組み、継続的な改善を展開します。

- ① 節電、省エネルギーを推進し、電力、化石燃料から排出される二酸化炭素の排出量を削減する。
- ② 水使用量の削減
- ③ 廃棄物の発生を抑え、発生した廃棄物においては適正な処理の上、リサイクル率の向上に努める。
- ④ 省エネ・高気密高断熱の住宅を推進する。
- ⑤ 環境における関連法規を遵守する。
- ⑥ 全ての社員に環境経営方針を周知し、環境保全の意識を高める。

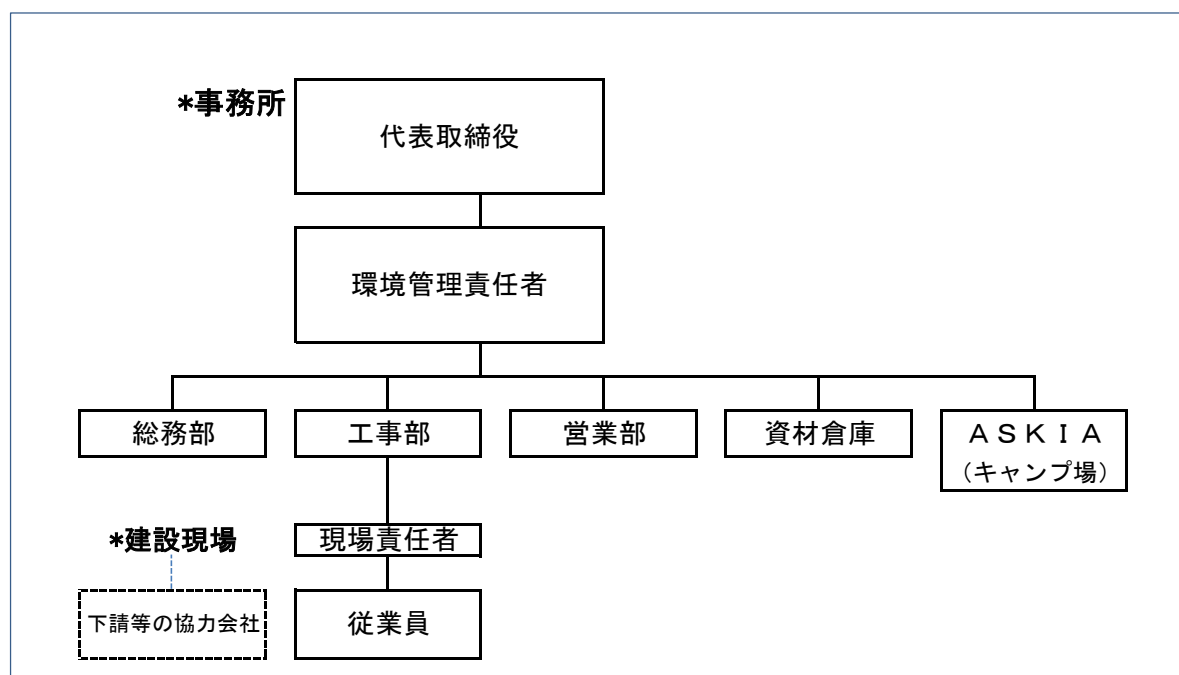
制定 2013年6月13日

改訂 2019年3月1日

株式会社 坂井工務店

代表取締役 坂井 亮介

3. 株式会社 坂井工務店 実施体制図



役割分担

担当		役割・責任・権限
代表取締役		- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な資(人材、設備、費用等)を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 - 代表者による全体の評価と見直しを実施 - 環境経営目標、環境経営計画書を承認 - 環境経営レポートを確認し、承認
環境管理責任者		- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成 - 環境経営目標、環境経営計画書を作成 - 環境経営レポートの作成 - 環境経営の取り組み結果を代表者に報告 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長	総務部	- 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 - 環境負荷の自己チェック及び、環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境経営の実績集計
	営業部	- 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成
	工事部	- 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
	ASKIA	- 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員		- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標とその実績

【中・長期目標】

○全体

目的	単位	基準年 (2021年度) * 4	目 標		
			2022年度 (基準年より1%減)	2023年度 * 4 (基準年より2%減)	2024年度 * 4 (基準年より3%減)
二酸化炭素排出量の削減 * 1	kg-CO2	37,492	35,850	36,744	36,370
電気使用量の削減	kWh	30,715	27,306	30,106	29,802
ガソリン使用量の削減	L	0	7,770	7,692	7,613
一般廃棄物排出量の削減	kg	2,244	242	239	237
産業廃棄物排出量の削減	t	191	189	187	185
水使用量の削減	m3	860	667	836	827
省エネ住宅の推進 * 2	件	5	6	7	8
環境保全の運動 (投棄ごみの清掃活動)	実施 回数	地域清掃・2回	2	2	2
		会社周辺清掃・12回	12	12	12

○事務所

目的	単位	基準年 (2021年度)	目 標		
			2022年度 (基準年より1%減)	2023年度 (基準年より2%減)	2024年度 (基準年より3%減)
二酸化炭素排出量の削減 * 1	kg-CO2	18,345	18,161	17,978	17,795
電気使用量の削減	kWh	15,005	14,855	14,705	14,555
ガソリン使用量の削減	L	2,790	2,762	2,734	2,706
一般廃棄物排出量の削減	kg	244	242	239	237
水使用量の削減	m3	570	564	559	553
省エネ住宅の推進	件	5	6	7	8
環境保全の運動 (投棄ごみの清掃活動)	実施 回数	地域清掃・2回	2	2	2
		会社周辺清掃・12回	12	12	12

○現場

目的	単位	基準年 (2021年度)	目 標		
			2022年度 (基準年より1%減)	2023年度 (基準年より2%減)	2024年度 (基準年より3%減)
二酸化炭素排出量の削減 * 1	kg-CO2	13,886	13,747	13,608	13,469
電気使用量の削減	kWh	2,815	2,789	2,759	2,731
ガソリン使用量の削減	L	5,059	5,008	4,958	4,907
産業廃棄物排出量の削減	t	191	189	187	185

○ASKIA

目的	単位	基準年 * 4 (2023年度)	目 標		
			2022年度 * 3 (旧基準年より1%減)	2023年度 (基準年より1%減)	2024年度 (基準年より2%減)
二酸化炭素排出量の削減 * 1	kg-CO2	5,261	3,942	5,208	5,156
電気使用量の削減	kWh	12,895	9,662	12,766	12,637
一般廃棄物排出量の削減	kg	2,000	-	1,980	1,960
水使用量の削減	m3	290	103	287	284

- * 1) CO2発生量は、四国電力の調整後排出係数0.408 (kg-CO2/kWh) を使用
 * 2) 化学物質の使用はありません
 * 3) 2022.7～9月分(3ヶ月)の実績を基に目標設定
 * 4) ASKIA 2023年以降は1年間の実績をふまえて2023年度を新基準年とする

5. 環境経営計画

【2023年度取組期間 2023年3月 ～ 2024年2月】

○事務所

		具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	① サーキュレーターを使用し、冷暖房器具の消費電力を抑える ② クールビズ・ウォームビズの普及・実施 ③ エアコンフィルターの1回/半年の清掃	総務部長
	ガソリン使用量の削減	① 移動経路の最短ルート確認励行の強化 ② アイドリングストップの励行 ③ エコドライブの教育・実施	総務部長
廃棄物	一般廃棄物の削減	① 紙資料の削減(共有資料の電子化) ② 社内書類の裏紙使用 ③ カタログ・プレゼンの電子化	総務部長
水使用量	節水	① 事務所内水道に「節水」シールを貼り、意識付ける ② 食器のまとめ洗いを心がける ③ トイレ使用時、流水音発生器の利用推進	総務部長
組織本来の取組	省エネ住宅の推進	① 高気密・高断熱材、澄家Eco、リフレティクス、太陽光発電の施主への商品提案	社 長
環境保全	清掃活動	① 事務所付近の道路、側溝等の清掃(年2回) ② 会社周辺の清掃(年12回)	総務部長

○現場

		具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	① 工期遅滞を防ぐため工程管理会議を行う(1回/月) ② 空調機器使用時の適正温度・時間の維持 ③ 不在時、休憩時の消灯	工事部長
	ガソリン使用量の削減	① 連絡時停車中のアイドリングストップ実施強化 ② 工事内容や工事場所により配置人員を工夫しロスを減らす ③ エコドライブの教育・実施	工事部長
廃棄物	産業廃棄物の削減	① 現場で余った材料や廃材を再利用する ② 倉庫内資材整理及び有効利用 ③ ゴミの分別を行い、再利用化を図る	工事部長

○ASKIA

		具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	① 退勤時、消灯チェックを行う ② 空調機器使用時の適正温度・時間の維持 ③ 電気スイッチに「節電」シールを貼り、意識付ける	管理責任者
廃棄物	一般廃棄物の削減	① ごみステーションに貼紙をし、家庭ごみを捨てないようにする	管理責任者
水使用量	節水	① 水道に「節水」シールを貼り、意識付ける	管理責任者

6. 環境経営目標実績結果と評価

○取組期間 2023年 3月 ～ 2024年 2月

【実績結果】

○全体

目的	単位	基準年(2021年度) ASKIAのみ2023年度	目標	実績	達成率	評価*3
二酸化炭素排出量の削減*1	kg-CO2	37,492	36,794	28,025	131%	○
電気使用量の削減	kWh	30,715	30,230	27,239	111%	○
ガソリン使用量の削減	L	7,849	7,692	6,766	114%	○
一般廃棄物排出量の削減	kg	2,244	2,219	245	905%	△
産業廃棄物排出量の削減	t	191	187	63	297%	○
水使用量の削減	m3	860	846	816	104%	○
省エネ住宅の推進*2	件	5	7	7	100%	○
環境保全の運動	実施回数	地域清掃2回 会社周辺清掃12回	2・12	2・12	100%	○

○事務所

目的	単位	基準年(2021年度)	目標	実績	達成率	評価*3
二酸化炭素排出量の削減*1	kg-CO2	18,345	17,978	11,580	155%	○
電気使用量の削減	kWh	15,005	14,705	12,521	117%	○
ガソリン使用量の削減	L	2,790	2,734	2,327	117%	○
一般廃棄物排出量の削減	kg	244	239	245	98%	△
水使用量の削減	m3	570	559	539	104%	○
省エネ住宅の推進*2	件	5	7	7	100%	○
環境保全の運動	実施回数	地域清掃2回 会社周辺清掃12回	2・12	2・12	100%	○

○現場

目的	単位	基準年(2021年度)	目標	実績	達成率	評価*3
二酸化炭素排出量の削減*1	kg-CO2	13,886	13,608	11,287	121%	○
電気使用量の削減	kWh	2,815	2,759	2,076	133%	○
ガソリン使用量の削減	L	5,059	4,958	4,439	112%	○
産業廃棄物排出量の削減	t	191	187	63	297%	○

○ASKIA

目的	単位	基準年(2023年度)*4	目標	実績	達成率	評価*3
二酸化炭素排出量の削減*1	kg-CO2	5,261	5,208	5,158	101%	○
電気使用量の削減	kWh	12,895	12,766	12,642	101%	○
一般廃棄物排出量の削減	kg	2,000	1,980	1,510	131%	○
水使用量の削減	m3	290	287	277	104%	○

*1. CO2 発生量は、四国電力の調整後排出係数 0.408 (kg-CO2 / kWh) を使用

*2. 次年度は2024年度の目標に取組みます

*3. 100%以上が○、99%～95%が△、95%以下が×

*4. ASKIAは2023年度を新基準年とする

6. 環境経営目標実績結果と評価

○取組期間 2023年 3月 ～ 2024年 2月

【評価】

○コメント(事務所・現場・ASKIAを記述)

二酸化炭素排出量の削減	【事務所】夏・冬共に事務所にサーキュレーターや卓上扇風機などを設置し、室内の温度を保った。 【現場】2名以上で行動する場合は乗り合わせの徹底、同方面の現場を同じ担当者が受け持つなどし、ガソリン使用率削減に努めた。 【ASKIA】前年度に比べ利用客が倍以上になったため、昨年より大幅に増加してしまった。今年度を基準とし、目標再設定を行う。
一般廃棄物排出量の削減	事務所にてASKIAの食材を切り分けているため、生ごみの排出量が増え、目標達成できなかった。 ASKIAでは専用のゴミ袋を用意し、家庭用ゴミとの違いが分かるようにしている。
産業廃棄物排出量の削減	今期は解体の現場が少なく、排出量を減少することができた。
水使用量の削減	【事務所】「節水」シールを貼り、節水を促している。 【ASKIA】前年度に比べ利用客が倍以上になったため、昨年より大幅に増加してしまった。今年度を基準とし、目標再設定を行う。
省エネ住宅の推進	新築・増築・改修の施主に対して省エネ住宅の提案を常に行うように努めた。
環境保全の運動	計画通りに実施できている。今後とも継続していく。

7, 環境経営計画の取組結果と評価

【事務所】

		具体的実施項目	実施責任者	3～5月	6～8月	9～11月	12～2月	評価
二酸化炭素	電気使用量の削減	① サーキュレーターを使用し、冷暖房器具の消費電力を抑える ② クールビズ・ウォームビズの普及・実施 ③ エアコンフィルターの1回/半年の清掃	総務部長	○	○	○	○	○
	ガソリン使用量の削減	① 移動経路の最短ルート確認励行の強化 ② アイドリングストップの励行 ③ エコドライブの教育・実施	総務部長	○	○	○	○	○
廃棄物	一般廃棄物の削減	① 紙資料の削減(共有資料の電子化) ② 社内書類の裏紙使用 ③ カタログ・プレゼンの電子化	総務部長	○	○	○	○	○
水使用量	節水	① 事務所内水道に「節水」シールを貼り、意識付ける ② 食器のまとめ洗いを心がける ③ トイレ使用時、流水音発生器の利用推進	総務部長	○	○	○	○	○
組織本来の取組	省エネ住宅の開拓・推進	①高気密・高断熱材、澄家Eco、リフレクティクス、太陽光発電の施主への商品提案	社長	○	○	○	○	○
環境保全	清掃活動	① 事務所付近の道路、側溝等の清掃(年2回) ② 会社周辺の清掃(年12回)	総務部長	○	○	○	○	○

○:出来た △:一部出来ていない ×:出来ていない

〇コメント

目 的	評価に対するコメント
二酸化炭素 (電気使用)	①②③実施できている。
二酸化炭素 (ガソリン・灯油・LPガス)	①②実施できている。 ③エコカーや燃費のいい車での移動を促し、社内にエコドライブの張り紙をして意識づけをしている。
廃棄物	①社内間のやり取りをラインやチャットワークで電子化し、紙資料を減らすことに繋がった。また、図面などデータ化し、紙での配布を減らした。 ②③実施できた。
水使用量	①・②・③実施できている。
組織本来の取組	①新規施主との打合せ時、省エネ住宅を積極的に提案し、「スーパーウォール工法」を取り入れた省エネ住宅の成約もあった。また、窓リノベなど補助金を使用したリフォームの提案・施工にも取り組んでいる。
環境保全	①事務所周辺の池の清掃活動、周辺道路の清掃活動を行った ②は毎月の全体会議前に社員全員で清掃を行った

7, 環境経営計画の取組結果と評価

【現場】

		具体的実施項目	実施責任者	3～5月	6～8月	9～11月	12～2月	評価
二酸化炭素	電気使用量の削減	① 工期遅滞を防ぐため工程管理会議を行う(1回/月) ② 空調機器使用時の適正温度・時間の維持 ③ 不在時、休憩時の消灯	工事部長	○	△	○	○	△
	ガソリン使用量の削減	① 連絡時停車中のアイドリングストップ実施強化 ② 工事内容や工事場所により配置人員を工夫しロスを減らす ③ エコドライブの教育・実施	工事部長	○	○	○	○	○
廃棄物	産業廃棄物の削減	① 現場で余った材料や廃材を再利用する ② 倉庫内資材整理及び有効利用 ③ ゴミの分別を行い、再利用化を図る	工事部長	○	○	○	○	○

○:出来た △:一部出来ていない ×:出来ていない

○コメント

目的	評価に対するコメント
二酸化炭素 (電気使用)	①工程管理を毎月行い、進捗報告・改善など取り組んでいる ②については猛暑により、適正温度の維持ができない月もあったが、現場監督にファン付きベストを支給し熱中症対策に努めた。 ③事務所に張り紙をして周知していた
二酸化炭素 (ガソリン・灯油・LPガス)	①～③定期的に社内で周知し、心がけるように努めた。 ガソリン使用量削減のため、遠方の現場にはエコカー使用を徹底した。
廃棄物	①～③実施できていた

【ASKIA】

		具体的実施項目	実施責任者	3～5月	6～8月	9～11月	12～2月	評価
二酸化炭素	電気使用量の削減	① 退勤時、消灯チェックを行う ② 空調機器使用時の適正温度・時間の維持 ③ 電気スイッチに「節電」シールを貼り、意識付ける	管理責任者	○	○	○	○	○
廃棄物	一般廃棄物の削減	① ごみステーションに貼り紙をし、家庭ごみを捨てないようにする	管理責任者	○	○	○	○	○
水使用量	節水	① 水道に「節水」シールを貼り、意識付ける	管理責任者	○	○	○	○	○

○:出来た △:一部出来ていない ×:出来ていない

○コメント

目的	評価に対するコメント
二酸化炭素 (電気使用)	①実施できた ②シーリングファンも併用し、適正温度に保てるよう努めた。 ③実施できていた。
廃棄物	実施できていた。
水使用量 (節水)	実施できていた。

8, 次年度環境経営計画

【2024年度】

○取組期間 2024年 3月 ～ 2025年 2月

○全体

		具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	① サーキュレーターを使用し、冷暖房器具の消費電力を抑える ② 使用していない部屋の照明・空調機器を消す ③ エアコンフィルターの1回/半年の清掃	総務部長
	ガソリン使用量の削減	① 移動経路の最短ルート確認励行の強化 ② アイドリングストップの励行 ③ エコドライブの教育・実施	総務部長
廃棄物	一般廃棄物の削減	① 紙資料の削減(共有資料の電子化) ② 社内書類の裏紙使用 ③ カタログ・プレゼンの電子化	総務部長
	産業廃棄物の削減	① 現場で余った材料や廃材を再利用する ② 倉庫内資材整理及び有効利用 ③ ゴミの分別を行い、再利用化を図る	工事部長
水使用量	節水	① 事務所内水道に「節水」シールを貼り、意識付ける ② 食器のまとめ洗いを心がける ③ トイレ使用時、流水音発生器の利用推進	総務部長
組織本来の取組	省エネ住宅の推進	①高気密・高断熱材、澄家Eco、リフレキクス、改修工事補助金、太陽光発電の施主への商品提案	社長
環境保全	清掃活動	① 事務所付近の道路、側溝等の清掃(年2回) ② 会社周辺の清掃(年12回)	総務部長

○事務所

		具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	① サーキュレーターを使用し、冷暖房器具の消費電力を抑える ② 使用していない部屋の照明・空調機器を消す ③ エアコンフィルターの1回/半年の清掃	総務部長
	ガソリン使用量の削減	① 移動経路の最短ルート確認励行の強化 ② アイドリングストップの励行 ③ エコドライブの教育・実施	総務部長
廃棄物	一般廃棄物の削減	① 紙資料の削減(共有資料の電子化) ② 社内書類の裏紙使用 ③ カタログ・プレゼンの電子化	総務部長
水使用量	節水	① 事務所内水道に「節水」シールを貼り、意識付ける ② 食器のまとめ洗いを心がける ③ トイレ使用時、流水音発生器の利用推進	総務部長
組織本来の取組	省エネ住宅の推進	①高気密・高断熱材、澄家Eco、リフレキクス、改修工事補助金、太陽光発電の施主への商品提案	社長
環境保全	投棄ごみの削減	① 事務所付近の道路、側溝等の清掃(年2回) ② 会社周辺の清掃(年12回)	総務部長

○現場

		具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	① 工期遅滞を防ぐため工程管理会議を行う(1回/月) ② 空調機器使用時の適正温度・時間の維持 ③ 不在時、休憩時の消灯	工事部長
	ガソリン使用量の削減	① 連絡時停車中のアイドリングストップ実施強化 ② 遠方の現場はエコカーを使用する ③ エコドライブの教育・実施	工事部長
廃棄物	産業廃棄物の削減	① 現場で余った材料や廃材を再利用する ② 倉庫内資材整理及び有効利用 ③ ゴミの分別を行い、再利用化を図る	工事部長

○ASKIA

		具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	① 退勤時、消灯チェックを行う ② 空調機器使用時の適正温度・時間の維持 ③ 電気スイッチに「節電」シールを貼り、意識付ける	管理責任者
廃棄物	一般廃棄物の削減	① ごみステーションに貼り紙をし、家庭ごみを捨てないようにする	管理責任者
水使用量	節水	① 水道に「節水」シールを貼り、意識付ける	管理責任者

9, 環境関連法規の遵守状況

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

法規等の名称	適用範囲	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理、マニフェストの発行及び保管(5年)、委託契約書及び許可証の確認	○
建設廃棄物処理指針 (平成22年度版)	産業廃棄物の処理、委託	○
建設リサイクル法	新築工事及び解体改修工事	○
優良産廃処理業者制度運用 マニュアル	産業廃棄物の適正委託	○
大気汚染防止法	解体・改修工事に伴う「特定建築材料(石綿等)」の除去作業	○
フロン排出抑制法	解体工事における適正な処理、業務エアコンの簡易点検	○
オゾン層保護法	解体工事、改修工事における空調設備、消火設備等	○
建築基準法	内装仕上げ・換気設備及び天井裏等の工事	○
騒音規制法	杭打ち機、びょう打機、削岩機、空気圧縮機等を使用する作業	○
振動規制法	杭打ち機、くい抜き機、ブレーカー、舗装版破碎機を使用する作業	○
土壌汚染対策法	指定地域内での土地の改変	○
浄化槽法	浄化槽の設置、清掃及び法定検査の実施	○
消防法(危政令)	火気の使用・指定可燃物の取扱い等	○
省エネ法	床面積2000㎡以上 (増改築、修繕等含)	○
香川県環境基本条例 高松市環境基本条例	事業者の責務	○
建設工事公衆災害防止対策要綱 (建築・土木)	工事全般、解体工事	○
学校環境衛生の基準	学校の新築・改築・改修工事	○

10, 代表者による全体の評価と見直し・指示

株式会社坂井工務店は、総合建設業における環境への負荷を削減し、地域社会への環境活動を目的とし、エコアクション21に取り組んでいます。

この活動を一過性のものにならないためにも、十分な議論、そして迅速な行動を心掛け続けていきたいと考えています。

・取り組みに対しての評価・見直し

2022年7月より営業を開始したキャンプ場施設「ASKIA」の1年間のエネルギー使用量が算出された。昨年度は目標数値を2022.7～2023.2(8カ月分)の平均で設定したが、今年度は大幅に上回っていたため今年度(2023年)を新基準とし目標を再設定して取り組んだ。また、1年間の客数も大体把握できてきたので繁忙期は特にエコ活動に力を入れ、実施項目以外のエコ活動も行い、少しでもエネルギー使用量を抑えられるよう努力する。

事務所や現場において例年の課題であった水・ガソリン使用量が目標数値を下回ることができた。遠方へ行く時はエコカーを使用したり、乗り合わせるなどしている。また、まとめ洗いや流水音発生器使用も徹底されて従業員1人1人の意識づけがこの結果に繋がったと考えられる。

事務所の一般廃棄物の排出量が目標を達成できなかったが、ASKIAの食材の下準備から出る生ごみが原因である。利用客が増え、排出量も増加したと思われる。

その中でも、水使用量は目標達成できているので無駄なく効率よく作業ができていると考えられる。

実績結果から今年度はほとんどの目的に対し目標を達成することができており、次年度も継続して取り組んでいきたい。

・今後に向けて

住宅省エネの補助金に対する問い合わせが増えてきており、実際子育てエコホーム支援事業や先進的窓リノベ事業で補助金を利用した施工も行った。

今後は新築のお客様だけでなくリフォームを検討されている方にも補助金の案内をして、省エネ住宅の普及活動に取り組んでいきたい。

また、今後は省エネ住宅のモデルハウスも検討しており、実際に体感してもらうことで省エネ住宅の魅力を伝えていけようと思っている。

【見直しの有無】	有	無
・環境経営方針	☐	☒
・環境経営目標・環境経営計画	☒	☐
・環境経営計画	☐	☒
・実施体制	☐	☒

2024年5月31日
株式会社 坂井工務店
代表取締役 坂井 亮介